

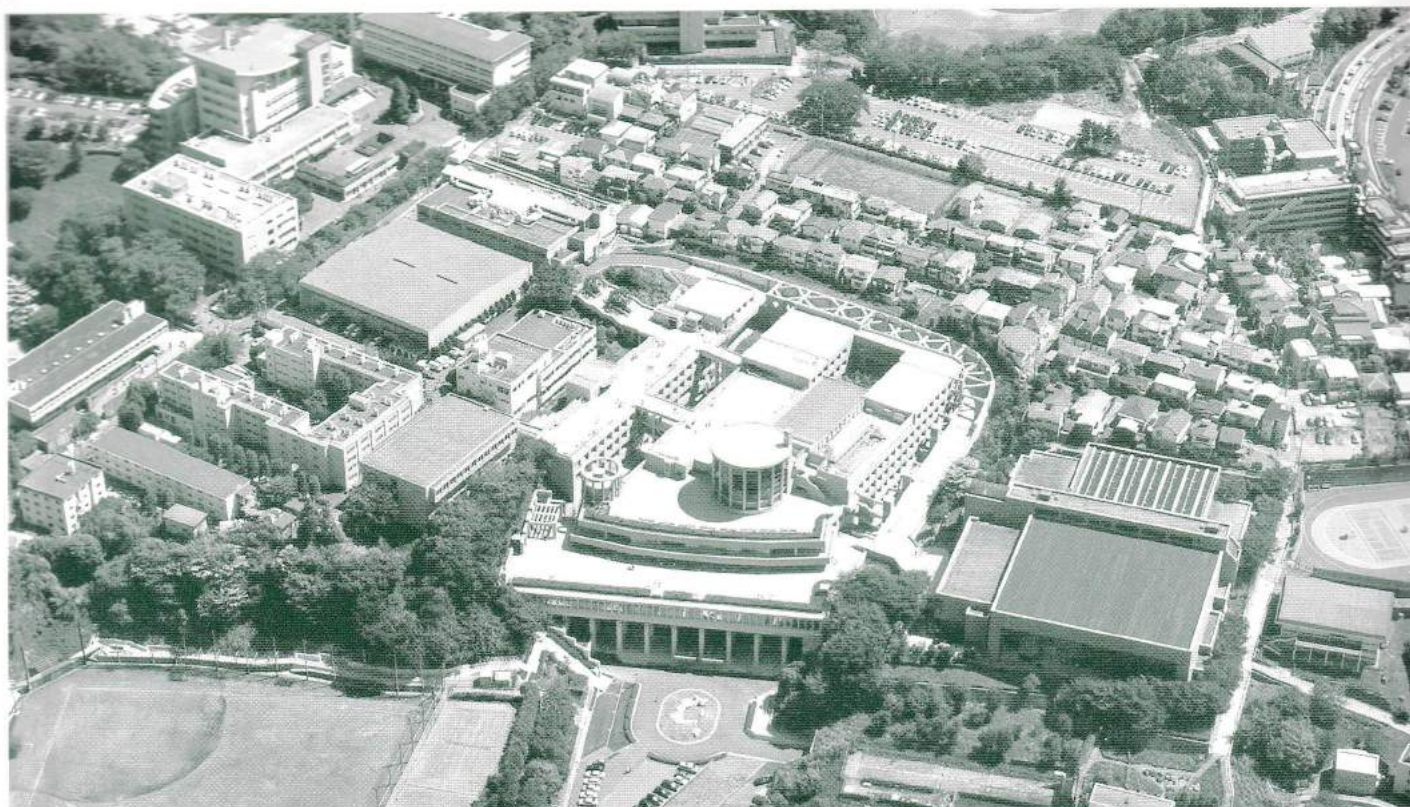
Senshu University Glee Club

専修大学グリークラブ
第37回定期演奏会



2001.12.8 (sat) open 13:30/start 14:00
浜離宮朝日ホール

The 37th Regular Concert



生田校舎

専修大学校歌

作詞 高野辰之
作曲 信時 潔
編曲 岡本 仁

一、宮城の北 枢地に立ちて

礎固し 我等が大学

質実な姿 真摯な心

学徒幾千 理想に生きて

済世の道 ここに学び

経綸の策 ここに究む

二、鳳の翼 両手に開き

世に魁けし 我等が大学

剛健の意気に 力行の勇に

学徒幾千 希望に生きて

常久の富 ここに萌し

限りなき幸 ここに芽ぐむ

我等が行く道 磐石なせり

我等が行く手は 光に充てり

エール専修

作詞 秩父重剛
作曲 片山正見
編曲 岡本 仁

若き命を飾る 勝利の讃歌

母校の旗へ 捧げてここに

覇者の名をつぐ 専修我等

精鋭無双の 力を挙り

怒涛の歩みを 進めるところ

栄光燦たる 我等が行く手

専修 専修

鳳専修

ごあいさつ

本日はお忙しい中、私共専修大学グリークラブの第37回定期演奏会にご来場戴きまして誠に有り難うございます。皆様方の暖かいご支援により、今年度もこうして定期演奏会を開催できますことを、私共部員一同、心より感謝致しております。

私共は創部以来38年に渡り先輩方から受け継がれてきた“専グリらしさ”を大切に胸に秘め、また今年度はクラブ方針である『一枚岩の精神』のもと、部員間のつながりを常に心掛け一年間様々な活動に臨み、そしてその集大成としてこの定期演奏会を目指して参りました。

本日の演奏会を通して、皆様方に少しでもこの伝統ある“専グリらしさ”を感じとって戴ければ、私共にとりましてこれ以上の喜びはありません。

最後になりましたが、本日の演奏会の開催にあたりご指導、ご尽力下さいました諸先生方、諸先輩方、並びに関係者の皆様方に厚く御礼申し上げます。



2001 多摩区民祭 “コーラスの集い”

曲 目

●専修大学校歌

作詞 高野辰之 作曲 信時潔 編曲 岡本仁

●I. Negro spirituals

黒人霊歌

Ride the Chariot

The Battle of Jericho

編曲 Marshall Bartholomew

Steal away to Jesus

Standin' In The Need Of Prayer

編曲 Bill Anderson

●II. ロマンズとバラード

オレーグ公の歌

たそがれの追想

Adoramus te, Christe

別れは永遠に

ハレルヤ・サーム

ロシア民謡 編曲 三沢郷

作詞 池田功 作曲 J.L.Hatton 編曲 J.A.Parks

作曲 Orlandus Lassus

作詞 池田功 作曲 Schubert

作曲 Cesar Franck 訳詞/編曲 津川圭一

●III. Brahms "Liebeslieder"

作曲 J.Brahms 編曲 福永陽一郎

I. Rede, Mädchen, allzuliebes!

II. Am Gesteine rauscht die Flut,

III. O die Frauen, wie sie Wonne, Wonne Tauen!

IV. Sieh; wie ist die Welle klar,

V. Nachtigall, sie singt so schön, wenn die Sterne funkeln.

VI. Ein dunkeler Schacht ist Liebe,

VII. Ein kleiner, hübscher Vogel nahm den Flug zum Garten hin,

IX. Am Donaustrande, da steht ein Haus,

XII. Zum Schluss

●IV. フェニックス愛唱歌

雨

秋のピエロ

海景色

作詞 ハ木重吉 作曲 多田武彦

作詞 堀口大学 作曲 清水脩

作詞 北川冬彦 作曲 高田三郎

●V. 現役・OB合同ステージ

箱根八里

そうらん節

作詞 鳥屋枕 作曲 龍康太郎 編曲 林雄一郎

北海道民謡 編曲 清水脩

●エール専修

作詞 秩父重剛 作曲 片山正見 編曲 岡本仁

専修大学学長・商学博士 出牛正芳

専修大学グリークラブ第37回定期演奏会にご来場を賜りまして誠にありがとうございます。本学グリークラブは1963年に創設されて以来、今年で38周年を迎える歴史と伝統ある男声合唱団です。また、65年以来毎年開催している定期演奏会も今年でじつに37回を数えます。指揮者の山口大五郎先生のご指導のもと、今年も美しい歌声を披露しようと学生、OBが一同となって日々練習を重ねてまいりました。

山口先生のご指導や諸先輩方と共に厳しい練習を重ね、毎年定期演奏会を開催することにより、学生諸君は技術の上達のみならず広く人間形成の場としても貴重な経験を得ていることでしょう。

今回は21世紀最初の定期演奏会です。新世紀を迎え、専大グリークラブの美しいハーモニーが淨らかに響きわたらんことを祈ってやみません。



大きな拍手を送って下さい

専修大学経済学部教授・経済学博士 グリークラブ顧問 鶴田俊正

専修大学グリークラブの定期演奏会に今年もお運びいただきまして有り難うございます。

今年の定期演奏会は1963(昭和38)年から数えて第37回目となります。先人達が築いてきた伝統を重んじながらも、毎年、新しい時代に適応できるように少しづつグリークラブは変化をとげております。

今年は、前任者の岡本先生からバトンタッチした常任指揮者の山口先生の3年目となる定演です。先生は専大グリーにすっかり溶け込まれ、学生たちと目線を同じくし、しかも、学生たちが最も尊敬する指導者として、ずっしりとグリーに根を下ろされました。どのような定演を演出されたのか、楽しみです。

3年生の鈴木大輔君が学生指揮者としての初舞台を踏みます。4年生の安武君は昨年について2回目の舞台です。応援して下さい。

今年のステージを最後に4年生7人が卒業します。グリーの歴史に立派な足跡を刻んだ彼らに大きな拍手を送って下さい。



孤高の道を歩め

岡本 仁

オックスフォード大学とケンブリッジ大学は700年以上の伝統があり、ともに立派な図書館と資料館を備えている。

オ大は楽譜出版の面に世界的定評があり歴史的合唱の資料に重要なものが多い。専大グリーもしばしばそのライブラリーから選んで歌ってきた。

ケ大のキングズカレッジには世界一と言われるコワイヤーがあり歴史的重要な合唱曲のCDも多い。ここのメンバーによって結成された「キングズシンガーズ」の絶妙なア・カペラコーラスを知らない人はいない。両大の対校ボートレースやラグビーを知る人も少なくないがそれらが大学を代表するイメージだ、とはイギリス人は決して言わない。

…戦争のような愚行を阻止できるのは

説教でも演説でもなく

今や《芸術の想像力》しかない…横尾忠則

専修大学グリークラブ、どうか志を高くもって孤高の道を歩んでもらいたい。駅伝や野球の評判にだけ大学のイメージを語る人がいなくなるまで。

(おかもと じん・専修大学グリークラブ・名誉指揮者)



武蔵野女子大学音楽部ルンビニー合唱団

専修大学グリークラブの皆様、第37回定期演奏会の御開催、誠にありがとうございます。団員一同心よりお慶び申し上げます。

貴団とは、共に常任指揮者として山口大五郎先生に御指導いただいている御縁があり、また、第一交流校として長年にわたり親しくさせていただいていることを嬉しく思っております。貴団の合唱に対するひたむきな姿勢と豊かな表現力、そして聴く者を励ます力を持つ歌声には、同じ合唱をする者として、敬服の気持ちを抱かずにはられません。本日は、皆様のたくましく暖かい歌声がホール全体に響きわたることでしょう。

最後になりましたが、本日の演奏会の御成功と今後の益々の御発展、御活躍を心よりお祈り申し上げます。

中央大学音楽研究会グリークラブ

専修大学グリークラブの皆様、第37回定期演奏会の御開催、誠にありがとうございます。団員一同心よりお慶び申し上げます。

貴団とは、第一交流校として日頃から親しくさせて頂いておりますが、皆様方のたくましく、深みのある歌声は同じ男声合唱を学ぶものとして私どもに良い刺激を与えて下さいます。本日、皆様の歌声がホール全体を暖かく包み込み、会場にいるすべての人に感動を与えて下さることを確信いたしております。

最後になりましたが、本日の演奏会の御盛会と貴団の益々の御発展、御活躍を団員一同心よりお祈り申し上げます。

常任指揮者 山口大五郎

福島県会津若松市生まれ。国立音楽大学声楽科卒業。在学中より合唱活動を始め、子供のからシルバーまで、児童・女声・男声・混声と幅広い活動を行っている。現在は新宿区少年少女合唱団、武蔵野女子大ルンビー合唱団、東京大学コールユリゼンなどの指揮者を勤め、地方の合唱団などにも積極的に指導に行っている。また音楽教育にも力を注ぎ、全日本音楽教育研究会の常任理事などを歴任している。



ピアニスト 中谷路子

東京音楽大学音楽学部ピアノ専攻卒業。東京藝術大学音楽学部別科終了。'97年日本ピアノ教育連盟主催第14回ピアノオーディションにて奨励賞受賞。第14回川崎音楽賞コンクール第3位入賞、川崎市文化協会賞及び音楽教育研究会奨励賞受賞。2000年春、2001年秋、ウイーン・メロス音楽研究所主催、音楽セミナーに参加。日本声楽家協会コレペティトル講座にてオペラ「ドン・ジョヴァンニ」「蝶々夫人」「カヴァレリア・ルステイカーナ」、シューベルト「冬の旅」を演奏するなど、ソロ活動のみならず、室内楽、独唱、管弦楽器等の伴奏ピアニストとしても活動している。オペラ及びリートを森島英子、ピアノを森早苗、播本三恵子、岡田敦子、カイルマン・ドラフィー、アヴォ・クムジャンの各氏に師事。



ピアニスト 太田えみ

国立音楽大学器楽科（ピアノ科）卒業。宮本良樹、折井直子、永井宏の諸氏に師事。様々な分野での演奏や、音楽教育の巡回公演に携わる。東京大学コールユリゼンなどの合唱団でピアニストをつとめ、とても気さくな雰囲気、ピアノの腕のみならず話術も光るものがあり、皆を楽しませてくださいます。



学生指揮者 安武祥吾

昨年、完全燃焼を果たし、今年はあまり「やる気」がないかのようなことを言っていた安武氏であった。しかし、後期行事である「シュワッチ・ザ・レーション」において、自身のラスト・ランを四位で飾り、安武氏のグリー魂が「このままでは終われまい」と再び燃え始めた。「本番が近づくとやる気がみなぎるのだよ。」という本人の言葉どおり、刻一刻と迫り来る定期演奏会に対して、テンションは日増しに高まりを見せている。ロマンスとバラード最終章、お楽しみください。



学生指揮者 鈴木大輔

経営学部情報管理学科3年。氏は長期の休みになると日本全国を飛び回る行動派で、氏のフットワークは実に軽快である。氏はその軽快なフットワークに加え、氏はグリークラブのなかでもトップクラスの熱血男である。氏はひとつの事に夢中になると、スピードがどんどん加速し、誰にも負けないくらいの集中力をみせ、疾走していく。そんなスピード感は練習、行事においても発揮され、氏は怒涛のごとく押し寄せる荒波の様である。本日は、フットワークとスピード感を持ち合わせた氏が指揮する黒人霊歌 (spirituals) により、氏の人間性がすべて詰まった「魂の歌」を皆様にお届けすることができるだろう。



I ステージ Negro spirituals

黒人霊歌は、17世紀から奴隷制度が廃止されるまでアメリカの黒人奴隷に歌い継がれてきた、独創的な民謡である。18世紀になって、固有の信仰を奪われた黒人達がキリスト教に救いを求めるようになった。そして歌を聖書の代わりに用いたため、ヨーロッパの聖歌が黒人の音楽に吸収され独自の音楽が生まれ、また、キリスト教の普及と共にアメリカ中に広まったのである。これら黒人霊歌の音楽的特長はジャズをはじめ、現代にいたるアメリカのさまざまな音楽のルーツになっている。

本日お届けする曲について、「Ride the Chariot」は満足感や達成感に満ちた勢いのある歌声を、「The Battle of Jericho」では英雄ジョシュアを称え、勇ましく戦場を駆ける怒涛のような歌声を、「Steal away to Jesus」では苦しかった過去を回想し、懐かしくもどこか哀愁漂う歌声を、「Standin' In The Need Of Prayer」では求めている宗教を手に入れた黒人達が、その喜びに満ちて歌った歌声を表現していく。

暗いニュースが目立つ昨今、「今は辛いかもしれない、しかしこの苦しみは必ず報われるのである」という黒人霊歌の精神を、このステージを通して共感したい。

II ステージ ロマンズとバラード

「ロマンズ」「ロマン」というと、冒険・恋愛などが想像できる。こういう題材は、今の専修大学グリーンメンには似合わないものだなあと思いつつも、あえて歌の世界でそういうロマンティックな世界の主人公になってみるのも悪くないだろうと思い、曲を選んだ。

冒険・勇ましさという面から、ロシア民謡の「オレーグ公の歌」。若者らしさ、雄々しさをどれだけ表現できるか？選りすぐりの男前による三者三様のソロが見物だと思う。

恋愛の面では、2曲目・4曲目である。二曲とも、今は遠く離れてしまった人を想って歌われる。同じ主題で異なる哀調を持つ二曲を、我々に歌いこなせるだろうか？

最後に宗教曲を二曲。3曲目と5曲目は、ともにキリスト教曲である。この二曲が作られた間には、三百年の歴史が流れている。この歴史の流れに思いを馳せてみるのもロマンティックなのではないだろうか？

また、五曲とも、専修大学グリークラブで歌い継がれてきた曲の中から選んだ。多くの中の五曲に過ぎないが、専グリの三十数年の歩みにロマンを感じ、かつ将来の活動へとつながっていけばと思ったのである。



Ⅲ ステージ Brahms "Liebeslieder"

昨年に続いてのブラームスである。ブラームスは18曲からなるLiebesliederと15曲からなるNeue Liebesliederを書いている。いずれも混声4声部の重唱と連弾のピアノのために書かれている珠玉の作品である。愛のワルツ集とも言われるように、すべてがシューベルト時代以来のウィーン舞曲である"レントラー"（ゆるやかなワルツ）で書かれている。詩はダウマーの詩集「ボリドーラ」から取られている（終曲だけはゲーテ）が、これらはロシア、ポーランド、ハンガリー等の民族的な詩をドイツ語に翻訳したものである。

Liebesliederの全曲初演は1870年1月で、ブラームス自身とクララ・シューマンがピアノを担当して行われている。ブラームスには珍しく、明るく屈託のない顔付きのあるこの曲集をブラームス自身も大変好んでいたと言われている。

今回は福永陽一郎の編曲であるが、彼は日本の男声合唱の育ての親とも言うべき存在である。男声合唱のための作品がほとんど無かった時代に多くの作曲、編曲の作品を残し、それらは今でも多くの男声合唱が演奏に用いている。

Ⅳ ステージ フェニックス愛唱歌

このステージでは、専修大学グリークラブのOB合唱団であるフェニックスグリークラブが三曲を演奏する。

「雨」は"あの雨音のようにそっとよのためにはたらいていよう"の詩が象徴するように人生を雨に例えている。

「秋のピエロ」は自分自身が辛く、苦しい立場にあっても、笑わなければならないピエロのせつなさとし季節としての秋の切なさをならべている。

「海景色」は、前半は静かな海の壮大な風景の様子に始まり、後半はその静けさをかき乱す、圧倒的な迫力の海鳥の群との対比が特徴である。

「雨」「海景色」はフェニックスグリークラブとしては初挑戦だが、OB独特の重厚な響きを楽しんでいただきたい。

Ⅴ ステージ 現役・OB合同ステージ

本日最後のステージは現役とOBによる合同ステージである。先輩方とともに「箱根八里」、そして北海道民謡「ソーラン節」を歌う。

「箱根八里」では、箱根の雄大な景色とその箱根に挑む、当時を生きた武士と獵師の様子を歌った歌である。

「ソーラン節」は掛け声にあわせてニシンをとる、鯨漁の様子を歌った歌である。

豪快な男の姿が目浮かぶような「専グリ」伝統の力強さをぜひ味わっていただきたい。

Top Tenor



野崎信久…高音・爆音なんでもござれの高性能。が、行事などで表情と行動が一致しないこともある。今春激ヤセしたが今はそうでもない、永遠のリバウンド王。上出晋…爽やかな笑顔とは裏腹に体にダークフォースを纏い、トップを悪の道へ導こうと精進している。キーワードが起爆剤となり、たまに悪魔が御目見えする危険人物。横尾彰彦…セカンドから移籍し、ますますそのオモチャ度が高まってきている。歌う表情は子泣きジジイ(本人談)。テンパるがアガれない運命を乗り越えようとしている。伊藤雅教…年上のお姉さん好きで、街中でも検索する。名前も姿も声もナイスなはずだが、彼の真相(趣味)は〇〇である。能力者。高嶋諒…自信満々で入ってきた氷見高校3代目。富山で鍛えた舌とギターでまわりを翻弄する。ドイツ人。渡辺慧…また増えた鉄っちゃん。よく笑う。長野育ちの体は秋になっても半ソデ半パンであった。様々な趣味を持つがまだ秘蔵のようである。吉原雄一郎…「羊」の彼はザルである。潰そうとしても潰される。またかなりの番組通であり、TVのことならなんでも(一部偏りあり)聞ける頼もしい奴。

- | | |
|--------------|-------------|
| ①野崎 信久 (経4) | 三 重/県立桑名 |
| ②上出 晋 (商3) | 埼 玉/県立浦和 |
| ③横尾 彰彦 (文2) | 千 葉/秀明大学八千代 |
| ④伊藤 雅教 (法1) | 福 島/県立安積 |
| ⑤高嶋 諒 (経1) | 富 山/県立氷見 |
| ⑥吉原 雄一郎 (営1) | 神奈川/県立有馬 |
| ⑦渡辺 慧 (営1) | 長 野/県立大町 |

Second Tenor



尾崎彰…堅実な人生を送る、要は人生送りバント。後はお見合い結婚で身を固めて老後を過ごすのみ。佐々木大…グリークラブにおける恋愛の魔術師かつペテン師。経験豊富だが裏を返せばただの浮気性なだけ。登立順一郎…セカンドの中の光の存在。だが体調が思わしくないのであえなく失脚してしまったマスオさん。吉松隆裕…京都御所で警察に捕まるなど悪事を重ね、セカンドを闇に染めるメロン記念日好きの変態。木寺正晃…活動拠点を中国に移そうともくろむナンパ野郎。真の目的はチャイナドレスと夜の情事…。吉澤正博…ふてぶてしさとノリだけなら一級品。意外性も秘めるが基本的に根性はなくやる気もなし。北本善裕…女の子とのメールのやり取りが楽しくて仕方ないおませさん。眼鏡の奥底に本性を隠しもつ嫌味な奴。中満崇之…態度も体も声もでかい注目すべき期待の大型新人。しかしどうやらただのデブと判明。

- | | |
|--------------|-------------|
| ①尾崎 彰 (商4) | 神奈川/県立霧が丘 |
| ②佐々木 大 (商4) | 岩 手/県立一関第一 |
| ③登立 順一郎 (経3) | 埼 玉/県立所沢北 |
| ④吉松 隆裕 (経3) | 大 分/岩田学園 |
| ⑤木寺 正晃 (商2) | 神奈川/光明学園相模原 |
| ⑥吉澤 正博 (経2) | 神奈川/武相 |
| ⑦北本 善裕 (商1) | 岡 山/県立津山東 |
| ⑧中満 崇之 (経1) | 千 葉/県立木更津 |

Baritone



- | | |
|-------------|------------|
| ①河合 信貴 (経4) | 埼 玉/県立越ヶ谷 |
| ②安武 祥吾 (法4) | 東 京/芝学園 |
| ③内山 一美 (経3) | 茨 城/県立多賀 |
| ④月館 博己 (経3) | 東 京/拓殖大学第一 |
| ⑤西田 大 (営2) | 秋 田/県立本荘 |
| ⑥飯島 徹 (経1) | 茨 城/水城 |
| ⑦猪岡 敬治 (経1) | 群 馬/県立前橋南 |
| ⑧永松 大 (法1) | 神奈川/横浜 |
| ⑨宮本 京明 (文1) | 香 川/県立高松北 |

河合信貴…専グリの酒豪でとても気さくな先輩だがたまの一言がかなりキツイ。安武祥吾…専グリー熱い氏は「闘魂伝承」を合言葉に大活躍。しかしその熱さをギャグの寒さで冷ましてしまうことも!? 月館博己…通称ボン。お喋りで目立ちたがりや氏は飲み場では壊れる。そのキャラがなんとも愛らしい?? 西田大…クールな氏は津田梅子を敬愛しているらしい。愛読書はボッカチオの「デカメロン」。何の勉強をしているのやら…。飯島徹…プラトニックラブを夢見る氏は夜な夜な女子高生とのメールに五里霧中。猪岡敬治…自称「格ゲー最強」を自負する氏の必殺技は逆切れ、いい訳、やけ酒の三連コンボである。宮本京明…「ああ言えばこういう」の氏はかなりスレた人間。しかし技術的にはかなりの成長株。投資適格はA A A。永松大…専グリー純粋な男。最近バーリーマグナムのお下劣トークに浸水中!? 内山一美…「だり〜」が口癖の氏が捨てた単位は数知れず。人生、単位よりも大切なものがあんだよ…はい、終了。

Bass

2001年グリーは核の炎につつまれた。海は枯れ地は裂け、あらゆる生命体が絶滅したかにみえた…だがベースは死滅してはいなかった。ベースは再び暴力が支配する時代になっていた。そんな中、低音神拳の伝承者松木(ケンシロウ)は、救世主となり立ち上がる。

しかしベースには強敵(とも)がいた。松山(ラオウ)は不気味な笑いでベースを震撼させる。林(サウザー)は聖帝を名乗ろうとするが、ブランクにより失脚し「でかくなつた小僧」と言わんばかり。鈴木(ユダ)はその知識の多さに酔う妖星と言えよう。藤木(ハート)は普段は温厚だが、怒るとその力は底知れず強敵を黙らせる。寺内(ユリア)は強敵に愛を与え、いつも頬を赤らめている。中村(レイ)は華麗な低音を持つが、シャイなためなかなか歌に活かせない。大石(ジャギ)は成増と呼ばれ、本名と呼ばれないことに怒り、「俺の名前を言ってみろ」と闘志を心に秘めている。村上(トキ)は常に柔の拳で強敵の攻撃を交わし続ける。そしてその本当の力を知る者はいない。このベースにおいて明日という日はない。



- | | |
|-------------|------------|
| ①林 謙吾 (商4) | 東 京/東京学園 |
| ②松山 卓志 (法4) | 茨 城/県立下妻第一 |
| ③鈴木 大輔 (営3) | 神奈川/県立岸根 |
| ④松木 良輔 (営3) | 富 山/県立氷見 |
| ⑤寺内 聡 (商2) | 栃 木/県立佐野 |
| ⑥中村 完人 (商2) | 山 形/県立酒田商業 |
| ⑦藤木 修 (法2) | 富 山/県立氷見 |
| ⑧大石 享弘 (文1) | 愛 知/県立小坂井 |
| ⑨村上 英一 (文1) | 東 京/昭和第一学園 |



2001年春合宿にて

部員から先生への言葉

鶴田先生へ

グリークラブ発足に尽力してくださった故早坂先生から鶴田先生に顧問が代わられてから、はや23年。グリークラブを様々な面で支え、我々のお力になってくださいました。学内・学外のお仕事で大変お忙しいにもかかわらず、合宿などに来てくださっては部員達を激励していただき、活動の励みとなりました。普段からのキビキビとした、それこそ部員達が憧れるような立ち振る舞いや、礼節を重んじる心は我々の活動の上での手本であり、誇りです。先生のクラブを愛してくださるお心に負けないよう、部員一同これからも精一杯がんばっていきたいと思います。本当にありがとうございました。

専修大学グリークラブ部員一同

OB会長から先生への言葉

鶴田先生有難うございました

故早坂禮吾先生から顧問のバトンを引き受けていただいて、約23年間、現役学生とOBの良きアドバイザーとして、クラブ活動を支えていただいた鶴田先生が、来年3月をもって正顧問の座から身を退かれることを伺い、現役グリークラブ、OBフェニックスグリークラブのメンバーを代表し、先生のこれまでのご指導に対し、改めて感謝の意と敬意を表すものであります。

先生のご活躍は、大学の文化、スポーツ両面の発展のみならず、公正取引委員会等の審議委員を勤められるなど、大学の枠を越え、日本の社会、経済をリードするお立場で活躍され、その幅広いご見識は常にグリークラブ全体の活動に大いなる刺激を与えていただき、退任のお話には一抹の寂しさもありますが、21世紀という新しい時代の中で、今後は奥村先生等と新しいグリーの活動に向けて頑張れ、というエールとして受け止めております。

30周年の演奏会の時には、一緒にステージで歌を歌っていただきましたが、40周年には先生も「クラブ卒団生」として、是非一緒にステージにて歌いましょう。今後もお時間の許すかぎり、生涯顧問のお立場で永くわれわれ学生、OBの助言者として、時には仲間として、歌にお酒に楽しい人生の時間を一緒にできることを願うものです。

グリークラブOB会(フェニックスグリークラブ) 代表 中江和夫

尾崎 彰 元先生係



彼は1年の時から、「良い奴」と呼ばれて来た。その彼も、4年を経た今、ただ「良い奴」から、「現グリーの良心」と呼べるまでになったのではないと思う。

練習においては指揮者の我儘をすすんで引き受けてくれる。誰にも先駆けて返事・挨拶をする。下級生の面倒を良く見る。どれをとっても、「良心」と呼ぶにふさわしいと思う。しかし、その良心故に、ちょっと頭が硬く、人を蹴りまくるのが玉に傷か!?

「自分が成長していくのが
実感できた四年間でした。」

河合 信貴 元OB係兼B1パートリーダー



昨年、パートリーダーとして、「日々これ決戦」という言葉を心に秘め、バリトンをまとめ、OBマネジャーという重要な役職を果たした。部員への気配りやグリーのことを思うあまりに、気持ちが空回りして、悩んだこともあっただろう。でも、君が見えない所で並々ならぬ努力と苦勞をしてきたことは、知っているよ。この経験がいつか、必ず生きてくるはず。それが専修大学グリークラブなのだから。

「素晴らしい戦友達と共に、老兵はただ静かに去るのみ、
新たな戦場に向かって…」

佐々木 大 元渉外兼T2パートリーダー



彼は常にひょうひょうとしていて一見つかみ所がない様に思える。しかし実際の彼は外見に現れるとおり、非常に穏やかで、活動中に見せる彼の笑顔に救われた人は数知れない。又、渉外の仕事に打ち込む彼の姿勢は真剣そのもので、その精錬された完成度は彼に対する信頼感を不動のものとした。宴会でも彼独特の雰囲気を作り出し皆を爆笑させた。彼は間違いなく我々の支柱であった。

「グリークラブ=人生におけるターニングポイント」

野崎 信久 元書記兼T1パートリーダー



彼を一言で表すとするならば、そう今若で話題の「クールな情熱家」であろう。彼の合唱、グリークラブに対する姿勢はこの四年間、常に一貫して「クールに情熱」を燃やし続ける事だった。誰一人として合唱経験の無かった我々が、ここまでの上達をはかることができたのは、彼の向上心と情熱に刺激された所が大である。彼の熱きグリー魂は必ずや後輩達が受け継いでいてくれるものと私は確信している。

(K)

「たくさんの思い出を、本当にありがとう!」

林 謙吾 元B2パートリーダー



彼は面白い男である。突然叫びだしたかと思えば、ある時には予測不可能な言動・行動で皆を困らせたりもした。しかしながら、どことなく憎めないのである。なぜなら本当の彼は努力の人だからである。彼はその努力によって様々なことを可能にしてきた。また、彼特有の雰囲気によって救われた場面もけっこうあった。もし彼がいなかったら果たしてどうなっていたか想像がつかない。一緒にやってこれて本当によかった。ありがとう。

「素晴らしい大学生活だった。
ありがとう。」

松山 卓志 元代表



「俺は代表をやる。」彼の眼は本物だった。彼は誰よりもグリーを愛した。そしてそんな彼を誰もが愛した。ベースの重鎮としてコーラスの底を支えつつ、同時に代表としては皆の心の支えでもあった。そう、彼こそ誰もが認めるグリーメンの鏡なのである。しかしそんな彼の素顔は…やはりただのお茶目さんであった。ほうら、耳を澄ませばどこかで聞こえる「がは、がはは…」と。

「我が事において後悔せず。」(宮本武蔵)
「この四年間、私を支えてくれた全ての人に感謝いたします。」

安武 祥吾 学生指揮者



彼はよく人から、『あやしい』だとか『変』だとか言われる。彼を『あやしい』などと言うのは恐らくその人が、彼の真の活躍に気付いていないからであろう。彼はいつも部員達と共に在り、常に会話の中に身を置いていた。確かにそんな時の彼の立ち振る舞いが、人にはあやしく映る時もあったかも知れない。しかし、我々が団結していく過程で、そんな彼の作る雰囲気が重要な役割を果たしていたという事を、我々は忘れてはならない。

「このクラブで学んだ事を将来役立て、
お世話になった人達に御恩を返したいと思う。」

——卒業式——

3月22日、日本武道館にて卒業式がとり行われた。前日からの準備の甲斐もあって絶好の場所を取ることができた我々は、今か今かと先輩方の登場を待ち受けた。式を終え、そこに現れた先輩方の顔は、大学・グリーでの4年間を見事にやり遂げた充実感に満ち溢れていた。自分達のいたらないときには本気で叱ってくださり、時には一緒に馬鹿騒ぎをしたこともあった。先輩方が培ってきた専グリの伝統と数えきれない思い出を胸に部員一同新たな決意の下、前進していくことを誓うのであった。



——新入生勧誘——

合唱？しかも男だけ？今のご時世、決して受けのいい言葉ではない。バラ色の学生生活を夢見る最近の学生にはなおさらである。しかしそんなことにかまってはられない。近年の部員減少傾向になんとしても歯止めをかけるべくグリーメンたちは叫ぶ。「山登りご苦労様です！」「1, 2, 3, グリー！」「腹が減ったらグリークラブ！」。他サークルの冷たい視線もなんのその。朝から元気イッパイのグリーメン達の常套手段は悪質・陰湿極まりないストーキング作戦である。「ガイダンスがあるので」と逃亡を図る新入生の後をつけ、教室から出てきた瞬間「飯食いに行こう」と拉致するのである。拉致されたが最後、もはや蛇に睨まれたカエルのごとく熱くありがたい語り攻撃が延々と続くのである。そう新歓コンパまで…。今年も10数人の個性豊かな新人(被害者!?)が誕生した！



——老人ホーム慰問演奏会——

7月8日、昨年に引き続き今年も特別養護老人ホーム「菅の里」で慰問演奏会をおこないました。なぜ今年も慰問演奏会を開催したかという、昨年の演奏会においてお年寄りの方々が涙を流しながら我々の歌を聞いてくださり、歌の持つ大変すばらしい可能性を垣間見ることができたからです。当日は「箱根八里」「ふるさと」「我は海の子」など昔懐かしい曲を10曲歌いました。特に「箱根八里」は会場にいる全ての人達为一体となって歌うという大変感動的なものになりました。後にこの演奏会がお年寄りの方々に大変好評だったと聞き、今後の我々の活動への大きな自信になったことは言うまでもありません。最後に準備の段階から大変お世話になった職員の方々、本当にありがとうございました。



——夏合宿——

9月6日から河口湖で5泊6日の夏合宿が行われた。1日10時間近い長く厳しい合宿の最後に待っているもの、そうである。今までたまっていたものを全て吐き出すが如く、ビール瓶3ケースを瞬間に飲み干し狂喜乱舞するグリーメンたち。そして毎年恒例となっている1年生による一発芸。意味もなく泳ぎだすやつ、さぶいモノマネに興じるやつ、妙な才能を発揮するやつ、その場ののりでごまかそうとするやつ、既に死んでいるやつ…。1年生の新たな素顔を垣間見ることができる貴重な場である。上級生も負けてはいない。ビールを0.5秒で飲むやつ、マグナムなやつ、暴走特急なやつ、ミニモニになりきるやつ、ゲ○で畳を汚すやつ、悪酔いし4年K合氏にコールをかけまくるその後自爆するやつ…。グリーメンたちの愚行を数え上げたらきりがなが、ただ一つ言えるのは「お前等らの胃袋は底なしだ！」みたいな、みたいな。こうして合宿最後の夜は更けていくのであった。めでたしめでたし。



——多摩区民祭「コーラスの集い」——

10月28日、多摩区民祭「コーラスの集い」が行われました。参加団体も昨年の13団体から15団体に増え、年々その規模も大きくなっています。今年は地域の人たちにもっとも専修大学グリークラブをアピールしていこうということで運営面でも積極的に参加していました。定演1ヶ月前ということもあり部員達も相当の緊張感をもって臨むことができ、また参加団体唯一の男声合唱団として重厚かつ繊細なハーモニーを披露し多くの方々から拍手喝采を頂きました。このあたたかいご支援と経験が定期演奏会の成功に向けた大きなステップとなることを確信する今日この頃です。

コンパ・御宴会

がんばれ専グリ！

永 花

向ヶ丘遊園駅北口 ☎044(911)3405

2000年12月2日 —————
第36回定期演奏会 浜離宮朝日ホール

2001年1月7日 —————
3大学合同新年会
(武蔵野女子大ルンビニー合唱団、東京大学コールユリゼン)
新宿

2月3日 —————
卒団生追い出しコンパ 生田校舎「CABIN」

2月5日 —————
卒団生追い出しソフトボール大会 二子新地グラウンド

3月15日～19日 —————
春合宿 三浦海岸「根本荘」

3月22日 —————
卒業式 日本武道館

4月5日 —————
入学式(校歌指導) 日本武道館

4月10日 —————
初コンパ やるき茶屋

4月14日 —————
新入生歓迎ボーリング大会 向ヶ丘遊園「BIG BOWL」

4月28日 —————
新入生歓迎コンパ 生田校舎「東京食堂」

5月2日～4日 —————
新入生歓迎合宿 府中青年の家

5月20日 —————
合コンwith武蔵野女子大学音楽部
ルンビニー合唱団 吉祥寺

6月9日 —————
合コンwith津田塾大学クール・ブルニエ 新宿

6月17日 —————
親睦ソフトボール大会 二子新地グラウンド

6月18日 —————
専修大学国際交流会
留学生歓迎会出演(有志) 国際交流センター

6月23日 —————
専修大学校友会総会出演 赤坂プリンスホテル

6月29日 —————
黒門祭Music Festival 生田校舎特設ステージ

7月8日 —————
慰問演奏会 特別養護老人ホーム「菫の里」

7月8日 —————
前期納会 向ヶ丘遊園「永花」

9月6日～11日 —————
夏合宿 河口湖「リゾートイン伏見」

9月22日 —————
シュワッチ・ザ・レーション 山手線沿線

10月13日 —————
合コンwith大妻女子大学合唱団 新宿

10月14日 —————
第一回東京男声合唱フェスティバル(有志)
東京文化会館小ホール

10月27日 —————
武蔵野女子大学「摩耶祭」
ルンビニー合唱団賛助演奏(1・2年)
武蔵野女子大学内特設ステージ

10月28日 —————
多摩区民祭「コーラスの集い」 多摩市民館大ホール

10月28日 —————
合コンwith鎌倉女子大学合唱団 横浜

10月30日 —————
秋季野球大会 二子新地グラウンド

11月2日～4日 —————
秋合宿 川崎市民プラザ

12月8日 —————
第37回定期演奏会 浜離宮朝日ホール

～音楽合宿に最適の宿～

真心で温かい
おもてなし

民宿 **根本荘**

〒238-0101 三浦市南下浦町上宮田1468
TEL 0468-88-0658





フェニックスグリークラブの今年度の活動は、昨年に引き続き6月の専修大学校友会121周年総会への出演から始まりました。赤坂プリンスホテルのクリスタルルームに於いて総会レセプションに出席し、現役を含め60名で校歌その他を歌い、現役・OBが一体となったグリークラブの存在を示しました。120周年から始まった校友会総会への出演を、今後の恒例となるよう努力しています。また、中央大学OB合唱団「白門グリークラブ」との交流から10月に開催された第一回「東京男声合唱フェスティバル」へ参加し、東京文化会館小ホールに於いて熱唱いたしました。初の開催ながら男性ばかり約800人もの参加者が集まったこの演奏会を通じて、今後とも「男性」にこだわった活動を続けたいと考えています。

さらに11月18日には三重県津市・都ホテルにて、三重県・岐阜県・愛知県三県合同の校友会にゲストとして出演し、得意のレパートリーから歌声を披露するなど、様々な場面での活動を続けています。

スタッフ紹介

顧問 鶴田 俊正
副顧問 奥村 経世

代表 吉松 隆裕
副代表 月舘 博己
会計 登立 順一郎
渉外 松木 良輔
木寺 正晃

先生係 上出 晋
OB係 内山 一美
渉内 寺内 聡
総務 中村 完人
書記 上出 晋
合宿係 西田 大
横尾 彰彦

常任指揮者 山口 大五郎
ピアニスト 中谷 路子

学生指揮者 安武 祥吾
鈴木 大輔

副学生指揮者 藤木 修
T1パートリーダー 上出 晋
T2パートリーダー 吉松 隆裕
B1パートリーダー 内山 一美
B2パートリーダー 松木 良輔

演奏会協力
専修大学グリークラブOB会
フェニックスグリークラブ
武蔵野女子大学音楽部ルンビニー合唱団
中央大学音楽研究会グリークラブ

本日はありがとうございました
スタッフ一同

文 具 20%割引
書 籍 10%割引

自動車教習所・専門学校（学割料金取扱い）

国際学生証受付即日発行
何でもご相談ください。見積いたします。

専修大学購買会 8号館5階

〒214-0033 川崎市多摩区東三田2-1-1
Tel 044-911-1097 Fax 044-932-7956

教科書・参考書・文房具
コピーセンター
教材その他 10%割引

専大図書館前販売店

専 大 書 房

TEL 044-911-9320

■保険代理店 ■学生総合保険
■所得保障制度
■がん保険
■専 修 大 学 出 版 局
■旅 行 代 理 店

株式会社 専大センチュリー

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-8-3（専修大学4号館）

TEL 03(3263)4238(代) FAX 03(3263)4239

小田急線向ヶ丘遊園駅前
営業時間 9:00~23:30

BIG BOWL

24レーン コンピューターボウリング

BIGBOWLがもっとわかる ホームページアドレス

<http://www.jea.or.jp/bigbowl/>

サービス券や新情報満載！

この広告を持参の方には貸靴1足無料サービス！
（2001年12月末日まで有効）

〒214-0014
川崎市多摩区登戸2735
中和ビル5F

☎(044)
932-1552

音楽合宿のご相談は…
お任せ下さい！

- 豊富な資料と経験豊かなスタッフが皆様のご要望に沿って丁寧にご相談に応じております。
- 練習目的によってセレクトして下さい。
 - ・音楽スタジオ ・音出し時間制限なし
 - ・音楽ホール ・体育館…etc.

旅のドリームメーカー

株式会社 **トラベル・セゾン**

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-19-4MKビル3F
03-3263-4311 FAX 03-3263-6521

大自然の息吹に心も和む 四季の宿

音楽合宿センター

リゾートイン 伏見



TEL 0555-83-2052

山梨県勝山村225 FAX 0555-73-3052

株式会社 東京都知事登録旅行業 第2-3334号
トラップ **トラベルサービス**
TEL.03-5467-8440



合宿人間、大集合！どんなお悩みでも、一挙解決。

中央大学音楽研究会グリーンクラブ第46回定期演奏会

2001年12月14日(金) パルテノン多摩

開場18:30 開演19:00(予定)

I エレミア哀歌
作曲：Thomas Tallis

III 男声合唱組曲「遠い国」
作曲：高嶋みどり

II Sea Shanties

IV ビートルズ曲集

指揮：古橋富士雄（音楽監督）・松村貴之（学生）

独唱：松本宰二（ボイストレーナー） ピアノ：野間春美

お問い合わせ 090-4057-1270（清水隆人）

会社案内 チラシ パンフレット カタログ 名刺 封筒 ハガキ など

印刷物の多少を問わず、お客様のニーズに合わせた企画・デザインを作成し、必ずご満足いただける製作をお約束致します。お気軽にお問い合わせ下さい。

印 刷 屋 さ ん

有限会社 **エー ジーピー**

〒183-0006 府中市緑町3-33-11

TEL 042-362-8880 FAX 042-362-9085



Senshu University Glee Club
The 37th Regular Concert

